

第 231 回例会「クリスマス例会」のご案内

今年も恒例の「クリスマス例会」を一緒にしましょう。

日時:12 月 23 日(金・祝日) 午前 11 時 30 分開始 午後2時 30 分終了

(受付は午前 11 時 15 分より)

場所:神戸外国倶楽部 神戸市北野町 4-15-1 電話:(078)241-2588

三宮駅もしくは新神戸駅からタクシーで 5 分。(注意! タクシーを使ったとき北野外国人倶楽部と間違い易いので「トアロードの突き当たりにある神戸外国倶楽部」と伝えてください。)

バスは三宮そごう百貨店前の「三宮駅前」から 7 系統「神戸駅前行き」にて「山本通 3」下車

会費:5,500 円です。飲物は各自払い

プログラム:☆お一人 1 分以内全員スピーチ ☆プレゼント交換(手作り歓迎、新規購入の場合は千円程度まででご用意ください) ☆ビンゴ☆オークション(軽くてお高めのもの寄付を歓迎) ☆スペシャルゲスト田中郷子さん(たなか さとこ、ソプラノ)の美しい歌声をお楽しみください。田中さんは大阪音大音楽部卒業、神戸大学大学院修了、芦屋市在住、声楽家として活躍するとともに西宮高校音楽科にて後進の指導にあたっています。国際経験が豊かで英語、イタリア語、スペイン語が堪能です。ラオスにピアノや楽譜を送る NGO 活動を行っています。

申込:締め切り日 12 月 16 日(金)までに、協会事務局までお申込みください。12 月 20 日(火)よりお取消の場合は会費全額をいただきます。



スペシャルゲスト
ソプラノ 田中郷子さん

230 回例会の報告 太津さんの果樹園で柿狩りと散策観光



予告:2012 年 2 月 18 日(土)に クライストチャーチ大地震 2011.2.22 に関する例会を行う予定です。

事務局:〒530-0028 大阪市北区万歳町 3-41 城野ビル 201

電話:(06) 6367 1773 FAX:(06) 6367 1793 makltd@d1.dion.ne.jp

ホームページ <http://nzsocietykansai.com/>

2011 年 11 月 30 日発行会報

第 230 回例会報告

太津隆司さんの果樹農園での柿狩りと散策観光

11 月 20 日（日曜日）に奈良県西吉野町赤松の太津（ダズ）隆司さんの果樹農園を総勢 15 人（プラス呉橋会長の可愛いお孫さん！）で訪問した。前日まで全国的に大雨で特に奈良県地方には大雨注意報も出ており柿狩りが出来るか危惧されたが当日は一部曇り空も観測される中全く降雨なしの素晴らしい秋の一日となった。

最初に訪れた太津さんの柿畑では一部の柿の木々は既に収穫済みであったが未収穫の木々には大きな素晴らしい色の柿がたわわに実り農道の両側に並んでいる。太津さんから「どれでも気に入った柿を取っていいですよ」と言われるが一同もったいないような気がしてしばし眺めるのみ。しかし一人が意を決し 1 個をもぎ取ると、それぞれが一番美味しいと見当を付けた実を次々にもぎ取り準備していただいたナイフで皮を剥き口に入れる。そこに素晴らしい味が口一杯に広がる！ 最初の大きな柿は、正午前ですきっ腹の我々の胃袋にあっという間に消えてしまった。次は腹と相談してやや小ぶりの実を切り取り今度は回りの景色を見ながら食べる。回りの山々は全て赤く紅葉した柿の木々で覆われているのが美しい。楓、桜、銀杏の木々の秋の色には馴染みがある。また柿の木も個人の庭の一、二本の紅葉はよく見かける風景だが山一面が柿の木々で埋まっているという風景は殆どが初めての経験であった。太津さんの所有する柿の木は約二千本、年間 45 万個くらいを出荷されるといふ。

昼食は太津さんが手配された小奇麗な和風のレストランで戴いた。準備された弁当は紅葉した柿の葉で包まれた所謂柿の葉寿司も入ったものだった。緑色の柿の葉で包まれた寿司は何度も食してきたが紅葉の柿の葉は初めてでその色をしてしばし眺めた後で中身を口にしました。中身の味は同じはずなのに何時にも増して美味しく感じた。

再び柿物語に還るが、西吉野町には平成 14 年に完成した大きな選果場があり最盛期には一日 200 トン、年間約 6 千万個、金額にして 30 億円の柿が主に関東地方に出荷されると云う。普段一般人は入れない巨大な選果場に入れて頂いたがそこにはコンベアベルトや各種装置が幾つも並び、運び込まれた柿の質、サイズ、色、硬さを瞬時に判別し最後の箱詰めまでであっという間終わるという感じである。選別過程で不良品として出された柿は我々には全く異常の無い美味しそうなものであったが不良品の判断は店頭で並ぶまでの間に自然に熟していく時間が考慮されるようだ。バナナの場合と同じで選別の際に既に美味しく食べられるものは販売の際には熟れすぎると云うことになる。その「不良品」は選別場に隣接する販売所で市価より安く販売されていた。

吉野には約 80 年前に最初の柿の木が植えられたそうである。一本の柿の生産的な寿命は 45 年ほどでそれ以後は若い苗木に植え替えられる。先に奈良の柿は主に関東地

方へ出荷されると述べたが関西地方は和歌山産が多いという。目の前の美味しそうな柿達が関西ではなく関東に向かうことに少し残念な気がした。

選果場の後は果樹振興センター「柿博物館」へ移動した。そこでまず目にするのは約 200 種類もの日本各地産の柿の見本展示物である。例えば北海道の渋柿、富山の甘柿、岡山の渋柿などが所狭しと並んでいる。当初それがイミテーションかと思ったが触ってみると実物の柿である。これらの柿を各生産地から取り寄せるのは大変な作業だなと思っていたが、なんとそれらの柿はこの博物館の敷地に植えてある各地方の柿の木から直接採取したものという。その時、「あ、この博物館や吉野の柿の研究は本物だな」と思った。皆がバスに移動する間、私はその木々を数本見て回った。そこには神奈川県と熊本県表示の柿の木があった。

そこから大阪へ帰るものと思っていると太津さんがおずおずと「南北朝の史跡はご覧になりませんか」云われる。その気持ちが我々には大変有りがたく嬉しいものだった。直ぐに一同「行きましょう」の異口同音で賀名生（あおう）の里歴史民俗資料館に向かった。そこは、触れば更にばらばらになると思われる日本最古と云われる日の丸があった。

又、1336 年に足利尊氏に京都を追われた後醍醐天皇が 1351 年まで吉野の地に南朝の皇居として居住した藁葺き屋根の家もある。バスが出発するまでの僅かな時間に覗き見した「皇居」だったが高校の歴史に出てきた南朝が此処だったのかとしばし感慨に耽った。

帰りは各自がバッグに入り切らないほどの柿のほかには大量のキウイまで頂きました。今回総合的なお手配と細かな準備をして頂いた太津さんに改めて感謝を申し上げます。

又呉橋会長に手配頂いた 29 人乗りの小型レンタルバスで大変ゆったりとした移動が出来ました。その運転は呉橋さんのご子息（一史さん）に運転して頂きました。心よりお礼申し上げます。（林さん、石井さんたちとは現地で落ち合い現地でお別れしました）

松元昇 記

参加者（敬称略）

石井久行、井上佳久、大矢昇、呉橋一史、呉橋三郎、呉橋真人、呉橋美穂、桑原耕治、小林さや子、永田美夜子、林園子、林弘子、塙幸子、藤野紀子、松元昇、山田輝子

ご結婚のお知らせ

会員の佐藤慎平さんと佐藤真弓さんがご結婚なさいました。以下は佐藤さんからのメッセージです。

日本ニュージーランド協会（関西）会員の皆さんこんにちは。佐藤慎平です。この度、会社の後輩で同じ NZ 協会会員の佐藤真弓さん（旧姓：佐藤）と 11 月 3 日に大阪で結婚式を行い、翌 4 日に入籍いたしました。

実は、入籍日の 11 月 4 日は二人の誕生日で、1 年違い

ですが、偶然にも同じ誕生日同士で結婚することになりました(笑)さらに、苗字も佐藤同士で、二人ともNZへの留学経験があるという、笑ってしまうぐらい偶然が重なった夫婦となりました。

もう一つご報告ですが、私たちは、来年オークランドへ渡航をすること決めています。真弓は、2月から現地のポリテクで1年間勉強を行い、私は、時間差で、8月頃にオークランドへ行く予定で、現地の知り合いを伝って仕事を探します。会社を辞めて行くことになりますので、大きなチャレンジにはなりますが、一度しかない人生を後悔したくないので、二人で1年以上前から計画してきました。現地でもNZ協会会員として何かご協力したいと思っておりますので、今後とも宜しくお願いいたします。

お知らせ

「川端裕人さんの見たNZの小学校」のPDFファイル

作家川端裕人(かわばたひろと)さんは11歳の息子、9歳の娘を連れて2009年に5ヶ月クライストチャーチに滞在しました。自ら体験したNZの小学校の教育、教師、PTAについてのレポートは日経新聞に10回にわたって連載され大きな反響を呼びました。やがて出版されるかと思いますが、興味ある方へは切りぬきをPDFファイルでお送りします。事務局へお申し出ください。

書籍の寄贈のおしらせ

廣田秀憲様から13冊の書籍の寄贈がありました。廣田先生は1932年富山県生まれ、33歳の時、科学技術庁長期在外研究員としてニュージーランド国立草地研究所に留学。その後、新潟大学農学部教授、同名誉教授。1995年～1999年日本草地学会会長。日本ニュージーランド協会の創立者、故川瀬勇博士と共に数少ない日本草地学会NZ派を成しました。11月14日協会へ下記書籍13点の寄贈をいただきました。

ここに廣田秀憲著「牧草と40年 いとしの草よ、牛よ、牛飼いよ」(2001年刊非売品)よりいくつかのエピソードを紹介します。

「会話に馴れる-大切なヒアリング」より抜粋

「毎日の(ニュージーランド国立草地研究所での)tea timeは楽しい。いろんな話題が出てテーブルの全員が爆笑する。私も真似て英語式?に笑ってみる。笑いの内容がよくわからないがJapanese smileで行く。時々”What about in Japan, Mr Hirota?””But, I am just a …”というわけのわからない答えである。的はずれの返答に座はしらける。“こいつはダメだな!”という冷たい視線を感じてうつむく。それでも懲りずに毎回出る。いまに見ろ。思い切り笑ってやるぞ! (中略)

1月になって、みんな休暇から帰ってきて、食堂が賑や

かになった。「彼はね、1週間裸でいたので帰ってきた姿を見ると腹に3本のストライプができていたよ!アハハ」一同大爆笑であった。私も心の底から笑った。いつもこんなに面白い話をしていたのかと思い、次回からは身を乗り出して話を聞くようになった。以後、私の行動は積極的になった。電話をかける。約束を守らない学生に説教するまでになった。不思議な話である。」

「私の留学体験」より

1963-1964の間、私は総理府科学技術庁の長期在外研究員としてニュージーランドの国立草地研究所に留学した。(中略)年が明け、夏休みの後、寮生の部屋の組み換えがあり、私は中央の高台にそびえるPink Hostelの2階の部屋に移り学生と相部屋になった。(中略)相手はベトナムから来たHun Hyun Han君であった。彼は食品工学を専攻し、学科で主席となり、地元の新聞にも紹介されたことがある。その記事で主任教授の話として「NZの学生でなくて留学生に首席を譲るとは嘆かわしい」との談話を思い出す。

Han君はその後、週1回、Levin町の軍隊の招きで何かを教えているようであった。詳しく聞かないで居たが、ある日ため息をついてつぶやいた。「実はこの国の軍隊に毎週呼ばれてベトナムの地理・歴史・産業・民族・宗教などについて講義しているのです。まもなくアメリカを中心とした国々がベトナムに侵攻するようです。”Leave us alone”(ほっとしてくれ、このおせっかいめ)と言って頭を抱えてしまった。「僕が今この国に来て勉強しているのは一体何のためだろう?故国が戦場となったら僕の知識も技術も全て無駄になる」

彼の予言どおりまもなく勝利のない、悲惨なベトナム戦争に米国が突入したのである。Han君の消息は不明である。別れに小さい鼈甲の贈り物をくれて”長生きしてください”と力なく言ったときの顔が忘れられない。」

当協会の創立者川瀬勇博士も第2次世界大戦中、日本軍に何度も呼び出されニュージーランドの様子を聴取されるというHanさんと似たような経験をしています。

寄贈された書籍は以下のとおりです。

川瀬勇著「日本民族秘史」「土と草と血 長寿の秘訣」共に1972年川瀬コーポレーション刊。「箸とフォーク」1976年川瀬コーポレーション刊。「南の理想郷 ニュー・ジールランド」1980年川瀬コーポレーション刊。

廣田秀憲著「牧草と40年 いとしの草よ、牛よ、牛飼いよ」2001年刊非売品。「続牧草と40年 私の回顧」2002年刊非売品。

峯吉智子著「ニュージーランド楽園物語」1996年東京書籍刊。

荒木和秋著「世界を制覇する ニュージーランド酪農」2004年デーリイマン社刊。

洋書 F.W.Hilgendorf J.W.Calder 共著「Weeds of New Zealand」1926年刊。W.Martin 著「The Flora of New Zealand」1929年初版。第4版 1961年刊。A.W.Reed「A Dictionary of Maori Place Names」1961年刊。Keith Sinclair

著「A History of New Zealand」1959年ペンギンブックス初版。第4版1991年刊。Murdoch Riley 著「New Zealand Trees & Ferns」1983年刊。

昇の兆しを見せているが、オーストラリアはいまだに混沌とした状態であるというのが、専門家の分析で、来年かその翌年には、ニュージーランドがオーストラリアを凌ぐ可能性も潜んでいるという。

NZニュースクリッピング

社会 2011年10月24日

ニュージーランド最悪の海洋汚染事故

事故にあったコンテナ船 Rena はタウランガ沖で座礁し、300トンのオイルが流出していると言われている。Nick Smith 環境相は、ニュージーランド始まって以来の海洋汚染事故であると、遺憾を表した。

Maritime New Zealand の調査によると、Astrolabe Reef で座礁しているコンテナ船から、10月5日以降200から300トンのオイルが漏れ続けているという。この4万7,000トンの船は、ネイピアからタウランガに向けて航行していたところ座礁した。1,700トンのガソリンと11の危険物の積荷を搭載している。

石油はベイオブプレントゥーとモティティア일랜드に流れ着き、船から7Kmに渡って広がっている。

NZ大好き 社会 2011年10月12日

オールブラックス、ファイナル進出決定

16日に行われたワールドカップのセミファイナルで、ニュージーランドはオーストラリアを20対6で破り、決勝進出を確定した。来週の日曜日のファイナルで、フランスと対戦するが、これに勝てば1987年の優勝後、2度目のワールドカップ優勝となる。

オールブラックスは前半からゲームを有利に運び、試合の流れは安定していた。試合開始すぐに、ウィングの Israel Dagg からパスされたボールを Ma'a Nonu が手堅くトライした。Piri Weepu は、前回アルゼンチン戦ほど振るわず、前半は1コンバージョンと2ペナルティキックを外した。しかし、前半13分でオーストラリアを引き離すペナルティを決め、後半退出するまでに更に2キックを決めた。新人の Aaron Cruden は、ドロップキックを決めたが、これが彼のオールブラックスでの初得点となった。

観客は満員の6万人で、チケットは売り切れ。1956年のスプリングボックス遠征時の試合以来、イーデンパーク最大の観客数となった。

芸能／スポーツ 2011年10月17日

ニュージーランド人国外へ

統計で9月は660人が国外に移住していることがわかった。これらの多くはタスマン海を越えて、オーストラリアへの移民となっている。専門家は、オーストラリアへの移住は、8月のピーク時の後もまだ盛況であると見ている。

しかし、ニュージーランドの労働市場は、わずかながら上

24年ぶりW杯優勝、国内大興奮

23日日曜日にイーデンパークで行われたラグビーワールドカップ決勝戦で、ニュージーランドはフランスを8対7で下し優勝した。1987年ラグビーワールドカップが始まった最初の年、そして同じくニュージーランドで開催された時に優勝して以来、オールブラックス2度目の優勝となった。

当日、オークランドの各所に設けられたファンゾーンは、興奮するファンで満員となった。3万人以上が、公式に設置されたウォーターフロントに集まり、アオテアスクエアは数千人の人出となった。イーデンパーク付近のキングスランドでは一時的に停電が発生したが、自家発電機能を持つイーデンパークへの影響はなかった。

ファンによる大きな騒ぎはなく、警察では観客のマナーのよさに満足している。ワールドカップ初日は、列車のトラブルで会場へ足を運べなかった事故などが発生するなど問題があったものの、最終的には大成功を収め、これまでもっともすばらしいカップの1つだとの声も上がった程度だ。

決勝戦後のインタビューで Len Brown 市長は、再度ワールドカップ開催をこの国でしたいとコメント、International Rugby Board の Bernard Lapasse 責任者も主催者、ボランティア等全てを含めたニュージーランドの人々が世界中からくるファンを暖かく迎え入れてくれたことを高く評価し、今後のトーナメント戦もこの地で行う可能性を示した。

ただ、結果として39ミリオンの損失となった今回のワールドカップ。補填を税金で賄われる事になりそうだ。

芸能／スポーツ 2011年10月24日

フランスチーム、ハカ妨害で罰金

ラグビーワールドカップの決勝戦開始前、ニュージーランドチームが、試合開始前の儀式としているハカを踊っているとき、フランスチームは互いに腕を組み、V型のフォーメーションを組んで、ハカの手前10メートルまで歩み寄ったが、この行為に罰金が課せられた。

国際ラグビー協会には、ハカに対する対応の仕方が定められているが、これは以前この件に関し対立があったため導入された。フランスチームの行為は、この規定に触れると協会より見なされ、4,900ドルの罰金となった。

芸能／スポーツ 2011年10月27日

南極とニュージーランドにかけてのオゾンホールは、今年9番目に大きい記録となった。

ニュージーランド、及び米国の科学者の見解では、現時点でオゾンホールが特に大きいのは、成層圏の通常よりも低い温度のため、人為的な化学物質がオゾンを破壊する動きが更に活性化しているためであるという。

ピーク時は9月で、2,600万平方キロメートル以上にも拡大していたのこと。

社会 2011年11月1日

ワールドカップも無関係な失業率増加

今年9月四半期のニュージーランドの失業率が6月四半期と比較し0.1%増の6.6%に増加していることが、ニュージーランド統計局の発表で明らかになった。

この期間はラグビーワールドカップで労働者が増えているはずだったため予想外の結果であったが、確かにここ3ヶ月で雇用者数は5000人増えてはいるが、失業者も3000人増加している。

性別でいれば、男性失業者は0.1%増の6.3%、女性失業者は0.3%増の7%という結果となった。

社会 2011年11月7日

運転中の携帯電話、取り締まりキャンペーン

運転中の携帯電話が禁止されて2年を迎え、警察では10日間のキャンペーンを実施して、集中的に違法者を取り締まっている。8月も9月も900人以上の人が、通常の実行体制の中で違反チケットを切られている。

数100メートル離れた場所からでも、疑わしい運転手を観察できる特殊カメラを用いる警官もいる。違反者のほとんどは、取り締まった警察官に対して従順に違反を認めているが、中には「電話を握っていただけだ」と言い訳する人もいて、とのこと。

社会 2011年11月8日

オークランドトンネル本日より開通

オークランドのVictoria Parkトンネルが本日14日朝5時より2レーンのみ開通した。

この340ミリオンドルをかけたトンネル工事、3レーン目のトンネルは来年3月に開通する予定。

Steven Joyce 交通大臣の話ではVictoria Park 付近のハイウェイ1は毎日15万台を超える車が利用していたが、このトンネルは1日あたり6万台が使えるように設計され、トンネルの開通により運転時間を20分減らすことができるとのこと。ニュージーランド交通局の話では午前9時までの4時間で1万台の車が通過したといい、これで朝の通勤ラッシュの心配がなくなる。

社会 2011年11月14日

ニュージーランドでクジラの大量座礁、61頭死亡

11月16日 AFP】ニュージーランド自然保護局は16日、ゴンドウクジラ61頭が同国南島北端のフェアウェル岬(Farewell Spit)の浜辺に乗り上げ、死亡したと発表した。

同局職員は14日、観光客からの通報を受けて現地に向かったが、既に大半が死亡していた。残りのクジラについては、15日の高潮で海に戻ることが期待されたが、クジラたちは再び岸に戻ってきてしまった。16日早朝の時点で18頭が生き残っていたが、苦痛を長引かせるだけだとして、安楽死に踏み切ったという。

体長が最大6メートルにもなるゴンドウクジラは、ニュージーランド近海では最も一般的なクジラだが、大量座礁は年に2、3回発生している。

原因は不明だが、クジラの音波探知機が浅海で狂う、病気のクジラが岸に向かって泳ぎ始めると他のクジラたちも追従する、などの可能性が挙げられている。(c)AFP

2011年11月16日:ウェリントンより

高齢者の自殺者増

自殺防止活動を行うSuicide Prevention Information NZの発表で、今年の高齢者の自殺数が11%と、ここ10年では最も高い数字となっていることがわかった。

全体の自殺者数は558人で1997年以来もっとも高くなっているが、若者の自殺者が減少していながらも、65歳以上の自殺者が全体の約10%を占める54名である点が注目された。

高齢者は歳を重ねるごとに周囲の友人などが他界していくことで、より孤独感が強くなっていき、よりケアやサポートが必要だとMental Health FoundationのJudi Clements 責任者はコメントしている。

社会 2011年11月23日

ニュージーランド観光局、クライストチャーチの復興と南島をアピール

クライストチャーチ&カンタベリー地方観光局のティム・ハンター氏が地震からの復興状況やベストシーズンに向けた旅行素材を紹介した。

ハンター氏によると、2月にクライストチャーチで発生した地震は局所的なもので、大きな被害はクライストチャーチ市内中心部にとどまったという。大聖堂を含む中心部の1平方キロメートルは現在も立ち入り禁止だが、エイボン川でのパンティング、南極センター、ウィロウバンク・ワイルドライフ・リザーブなどは通常通り営業。トラムやキャベンディッシュ山のゴンドラ、被災者対応のために休業していた美術館なども2012年3月から4月に再開予定だという。

NEW ZEALAND SOCIETY OF JAPAN, KANSAI
日本ニュージーランド協会（関西）

太津さんの案内で一路柿畑へ



そこにあっただのは見事に紅葉した見渡す限りの柿畑



一番に賞味してご満悦の松元さん



手のひら一杯で、ずっしりと重い柿に感激
(柿栽培で黄綬褒章を受章した太津さんの柿)



わき目も振らず柿狩りに熱中



国内最大規模の柿の選果場



柿博物館



博物館には数百
種類の柿が展示
されていました